



国立大学法人 千葉大学
National University Corporation
Chiba University

ニュースリリース

平成 23 年 1 月 27 日

県政記者クラブ加盟社 各位

千葉大学 工学部建築学科

千葉大学チーム（代表：川瀬貴晴 教授）が、2012 ソーラーデカスロン・ヨーロッパの 20 チームに選定されました。

千葉大学工学部建築学科（代表：川瀬貴晴教授、栗生明教授、幹事：鈴木弘樹助教、学生幹事：花里真道さん 等）を中心に進めていたソーラーデカスロン・ヨーロッパのプロジェクト案が 15 カ国、応募数 33 チーム（47 大学）からスペイン・マドリードで実際に建設する 20 チームに選定されました。日本では唯一、また、ソーラーデカスロンが始まって初めて日本が選定されました。

応募案は、日本の伝統的な家屋をベースに、軒の深い縁側や大きく開放できる窓、畳や障子などを計画し、日本の文化を織り込んだ計画です。屋根にはソーラーパネルを設置し、屋内には、千葉大学で行われている先進的な研究で注目されている「植物工場」を、ソーラーハウスと組み合わせて提案しています。今後、医学部、園芸学部、教育学部など他の学部の協力を得て、全学をあげての組織体制を強化し、2012年の建設に向けプロジェクトを進める予定です。

■ソーラーデカスロン（ヨーロッパ）の概要

世界の 20 の大学がソーラー住宅を建設して総合的な優劣を競う競技。米国では既に何回かの実績があり、ヨーロッパでは 2010 年に次いで 2 回目。

競技は 2 段階方式。最初は書類審査で 20 大学が選定され、次段階でマドリードにソーラー住宅建設。2012 年 6 月に実住宅の審査があり順位を決めます。

この競技の最大の特徴は、大学が応募し、プロジェクトの主体は学生であることです。プロジェクトの推進に国の協力や参加企業などを募りながら、大学では教員がアドバイザーとして参加し、大学内の教育プログラムに組みプロジェクトを進めます。

現地審査での審査項目は、太陽エネルギーの利用以外に、デザイン性、図面等の書類と建設だけでなく、市場性、WEB による提案内容の PR など計 10 項目あります。

本件に関するお問い合わせ先

千葉大学 工学研究科教授 川瀬 貴晴

〃 助教 鈴木 弘樹

Tel : 043-290-3147・3162

fax : 043-290-3153

E-mail : kawase@faculty.chiba-u.jp